2023年非鉄リサイクルの事業展望

非鉄金属リサイクル全国連合会
橋本 健一郎会長

CN機運、軽圧向けも期待

――昨年の非鉄相場を振り返って。

「LME相場の高値から安値まで約2000ドル下落するなど、激しい動きがあった一年だった。LME相場は、年初の1トン2万6000ドル台からロシアのウクライナ侵攻を受けた3月には一時3万8000ドル台まで上昇。その後も下落し、7月には2万3000ドルと前年の最高値を抜け切れず、米連邦準備理事会（FRB）が利上げに踏み切った影響から下落基調に転じ、5月は3万ドル、6月は2万7000ドル、7月には2万4000ドルと続いた。その後は多少戻したが年末は2万8000ドル前後となった。為替も年初に1ドル115円台から円安基調で推移したが、FRBの利上げが一服したことなどから円高に振れ、1ドル＝135円台で年を越した。1年間の平均レートは131円台と前年（112円）から大きく円安に振れた。その後は多少戻したが年末は2万8000ドル前後となった。為替も年初に1ドル115円台から円安基調で推移したが、FRBの利上げが一服したことなどから円高に振れ、1ドル＝135円台で年を越した。1年間の平均レートは131円台と前年（112円）から大きく円安に振れた。

――スクラップの需要は。

「鋼スクラップは、鉄源相場が堅調に推移したことや、鋼材メーカーなどの休転影響などから、国内の発生量が減少した。コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻の影響を大きく受けながら、1年間を通して基本的に低位だったため、需要は基本的に低位だったため、需要は基本的に低位だったため、需要は